

読書灯

取付要領書

品 番

品 番

81024-50010

構成部品

本体キット			
No.	品 名	品 番	個数
1	灯体本体	—	1
2	コントローラ	—	1
3	ノイズフィルター	90980-04083	1
4	電源ハーネス	—	1
5	ブラケット	—	1
6	ボルト長 (M6×18mm)	91512-60618	2
7	ボルト短 (M6×12mm)	91551-80612	1
8	クランプ	—	13
9	ホルダークランプ	—	1
10	黒シート	—	1
11	スポンジテープ	—	1
12	クッション	—	2
13	樹脂クリップ	62217-12050	2
14	取扱書	—	1

取り付け上の注意事項

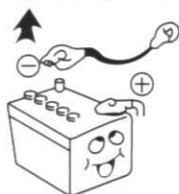
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 警告** ……警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています
- ⚠ 注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
- 🔧 アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

1. 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
2. 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動および乗車は絶対しないでください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両および取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
4. バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

— 取り付ける前に —

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



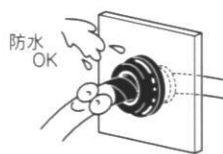
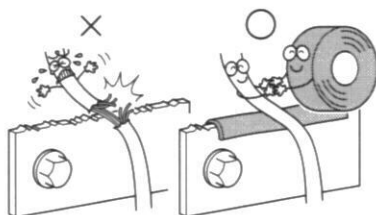
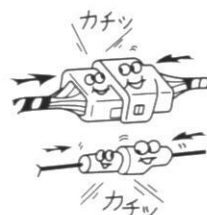
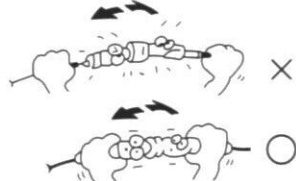
— 部品の取り付けは —

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



— 配線は —

- コネクタは本体を持てはずす
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する
- コネクタは確実に接続する
- 無理に引っ張らない
- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する
- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする
- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



— クランプは —

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクタを異音がしないようにクランプする



— 取り付け完了後は —

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

取り付けに必要な工具等

- ・一般工具、電動ドリル (φ3、φ8)、ホールソー (φ19)、ビニールテープ、保護テープ、ガムテープ
- ・保護シート、ドライヤー、ケガキ針、トヨタエレクトリカルテスター、サインペン、保護メガネ
- ・参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

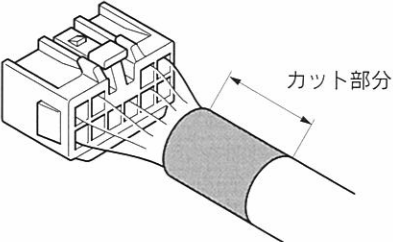
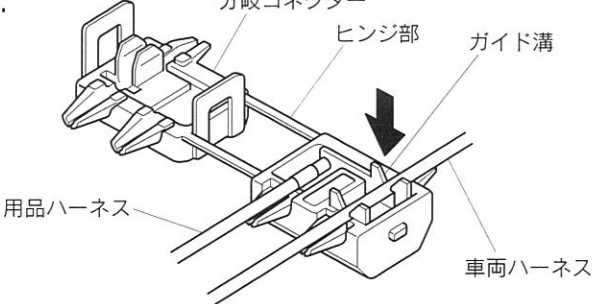
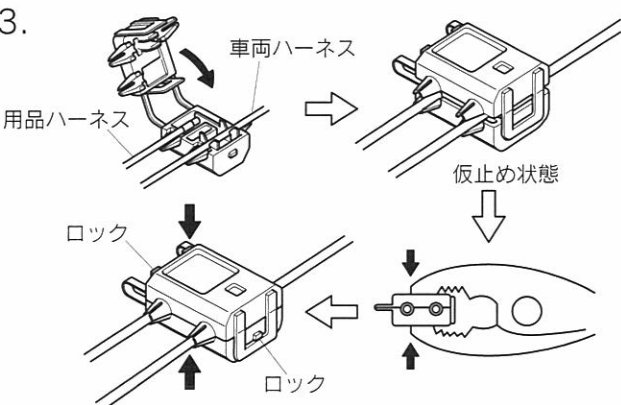
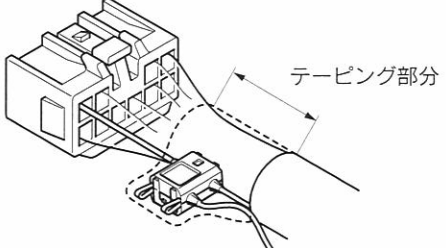
パワーシート・イルミネーション等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

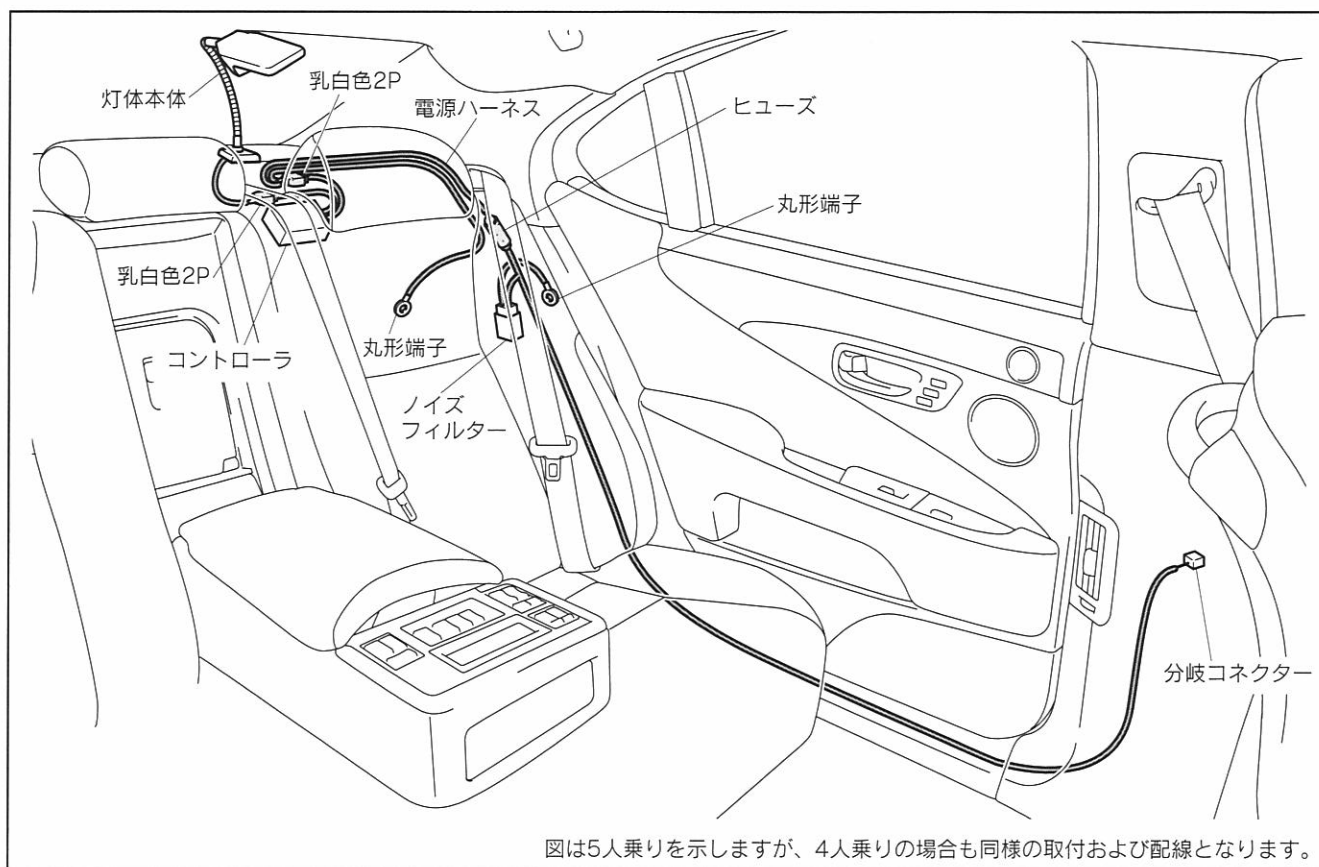
分岐コネクタ使用上の注意事項

1. 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
2. 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
3. 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
4. 接続するコネクタの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
5. 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
6. ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
7. 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクタの接続手順

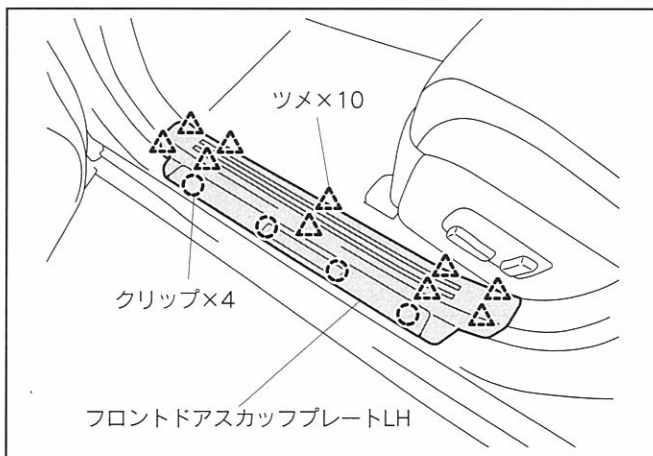
1.  1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
2.  2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。
3.  3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
4.  4. 分岐コネクタ接続位置を、テーピング処理してください。

取付概要



TG-KB-001

車両部品の取りはずし

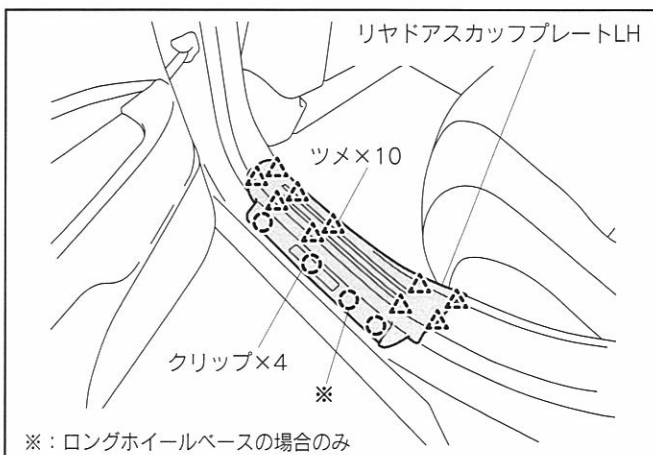


TG-KB-A12

SRSエアバッグシステムに影響する作業がありますので、作業する前に、必ず修理書のSRSエアバッグシステムの注意事項を確認してください。

フロントドアスカッフプレート LH の取りはずし

クリップ (4箇所) およびツメ (10箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。



TG-KB-A01

リヤドアスカッフプレートの取りはずし ＜ロングホイールベースの場合＞

1. クリップ (4箇所) およびツメ (10箇所) の嵌合をはずし、リヤドアスカッフプレート LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。

＜ショートホイールベースの場合＞

1. クリップ (3箇所) およびツメ (10箇所) の嵌合をはずし、リヤドアスカッフプレート LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。



リヤシート ASSYの取りはずし ＜一体型固定シートの場合＞

- 図1に従い、①フック（3箇所）の嵌合をはずし、リヤシートクッションASSYを真上へ持ち上げて取りはずす。

⚠ 注意

①フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、①フックの根元付近を持ち上げてください。

- 図2に従い、②クリップ（2箇所）および③フック（1箇所）をはずし、リヤシートアームレストホールボードを前方に倒す。
- リヤシートバックASSYの④ボルト（4本）、⑤ナット（1個）および⑥フック（2箇所）をはずす。

⚠ 注意

- 復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。
- リヤシートバックASSYを車両から降ろす必要はありませんが、傷付きや、汚れ防止の為、リヤシートバックASSYを傾ける際、必ず車内に保護シートを敷いてください。



＜5人乗りパワーシートの場合＞

- 図1に従い、リヤシートクッションASSY LHを真上へ持ち上げて①フック（2箇所）の嵌合をはずす。

⚠ 注意

①フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、①フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

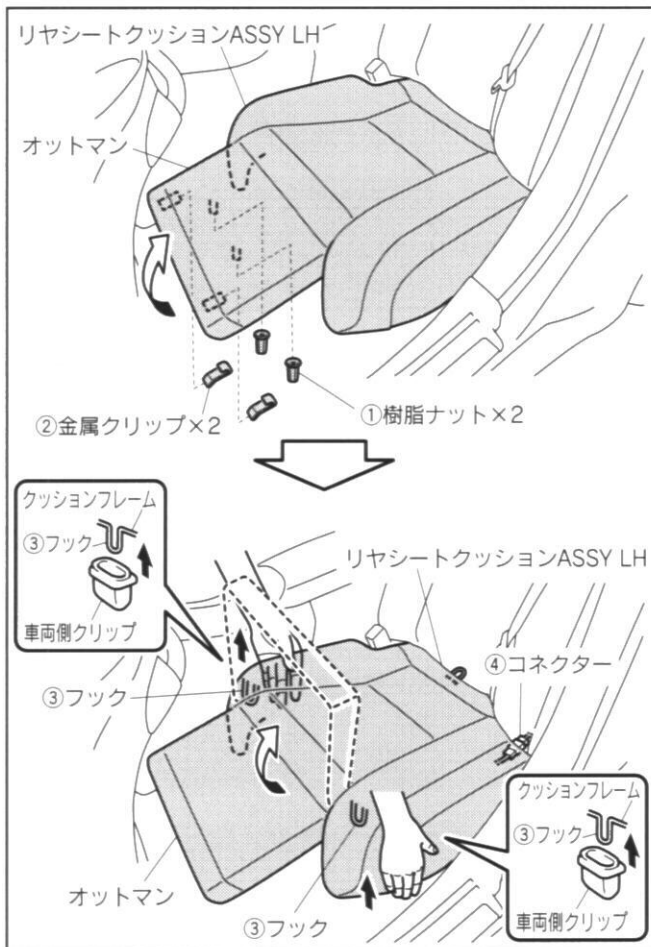
- ②各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッションASSY LHを取りはずす。
- ③クリップおよび④マジックファスナーをはずし、リヤシートバックカバーを車両からははずす。
- 図2,3に従い、リヤシートバックASSY LHの⑤ナット（2個）、⑥背面フック（2箇所）および⑦ダクトをはずす。
- RH側も同様に取りはずす。

👉 アドバイス

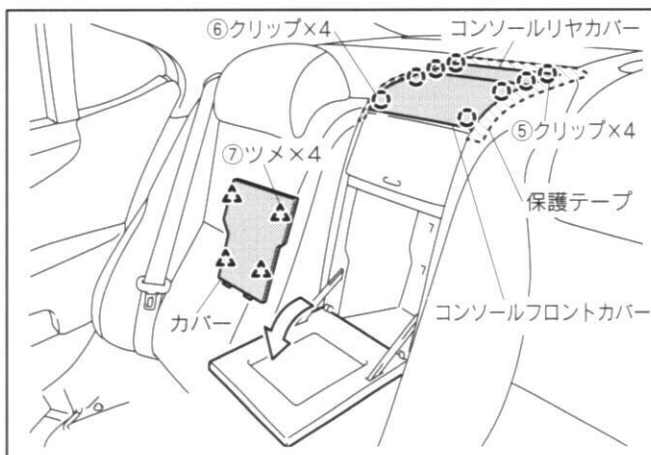
- ⑥背面フックは、図3の矢印方向に、リヤシートバックASSYを動かしてはずしてください。
- 車両仕様により、⑦ダクトが無い場合があります。

⚠ 注意

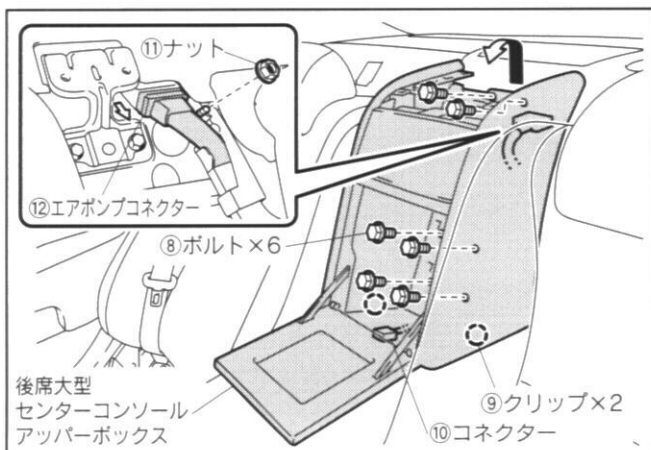
- 復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。
- リヤシートバックASSYを車両から降ろす必要はありませんが、傷付きや、汚れ防止の為、リヤシートバックASSYを傾ける際、必ず車内に保護シートを敷いてください。



TG-KB-A02



TG-KB-A16



TG-KB-A17

＜後席セパレートシートの場合＞

1. バッテリーの（－）側ケーブルを接続する。
2. リヤシートLHのオットマンを最上点まで上げる。
3. オットマン裏側の①樹脂ナット（2個）および②金属クリップ（2個）をはずす。
4. リヤシートLHのオットマンを最下点に格納し、バッテリーの（－）側ケーブルをはずす。
5. リヤシートクッションASSY LH 前端の③フック（2箇所）を真上へ持ち上げて、嵌合をはずす。

⚠ 注意

③フック（2箇所）をはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、③フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

6. ④各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッションASSY LHを取りはずす。

⚠ 注意

リヤシートクッションASSY LHを取りはずす際、オットマンの表皮を破損させないように充分注意してください。

7. 図中斜線部に保護テープを貼り付ける。
8. ⑤クリップ（4箇所）の嵌合をはずし、コンソールリヤカバーを取りはずす。
9. ⑥クリップ（4箇所）の嵌合をはずし、コンソールフロントカバーを取りはずす。
10. 後席大型センターコンソールアッパーボックス内のツメ（4箇所）の嵌合をはずし、カバーを取りはずす。

11. ⑧ボルト（6本）、⑨クリップ（2箇所）および⑩コネクターの嵌合をはずし、後席大型センターコンソールアッパーボックスを取りはずす。
12. ⑪ナット（1個）および⑫エアポンプコネクターの嵌合をはずす。



13. 図1に従い、リヤシートクッションASSY RHを真上へ持ち上げて⑬フック (2箇所) の嵌合をはずす。

⚠ 注意

⑬フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、⑬フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

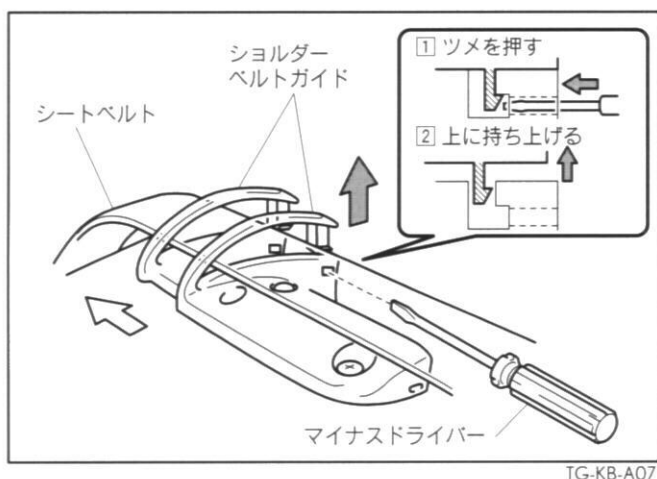
14. ⑭各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッションASSY RHを取りはずす。
15. ⑮クリップおよび⑯マジックファスナーをはずし、リヤシートバックカバーを車両からはずす。
16. 図2,3に従い、リヤシートバックASSY RHの⑰ナット (2本)、⑱背面フック (2箇所) および⑲ダクトをはずす。
17. リヤシートバックASSY LHも同様に取りはずす。

👉 アドバイス

- ⑱背面フックは、図3の矢印方向に、リヤシートバックASSYを動かしてはずしてください。
- 車両仕様により、⑲ダクトが無い場合があります。

⚠ 注意

- 復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。
- リヤシートバックASSYを車両から降ろす必要はありませんが、傷付きや汚れ防止の為、リヤシートバックASSYを傾ける際、必ず車内に保護シートを敷いてください。

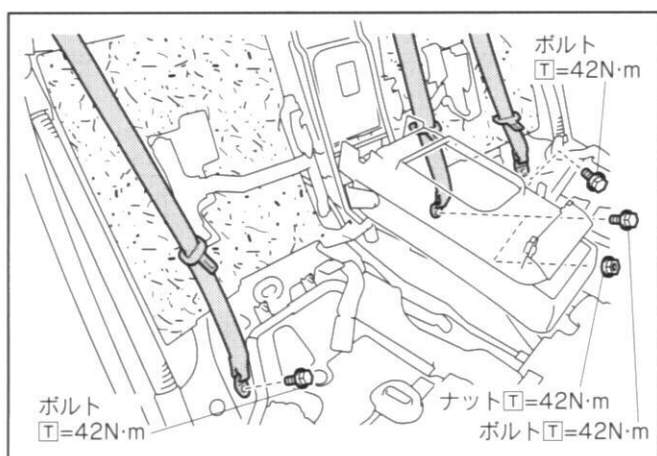


リヤシートベルトアンカーの取りはずし

1. ショルダーベルトガイド (4個) のツメ (4箇所) の嵌合をはずし、シートベルトを取り出す。

⚠ 注意

ツメ部破損の恐れがある為、慎重に作業を行ってください。



< 5人乗りの場合 >

2. シートベルトアンカーボルトまたはナットを3箇所取りはずす。

< 後席セパレートシートの場合 >

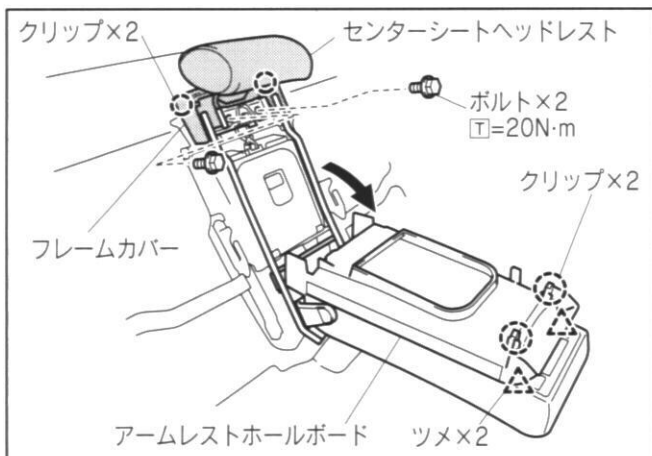
2. シートベルトアンカーボルトを2箇所取りはずす。

⚠ 注意

復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。

👉 アドバイス

後席セパレートシートの場合、シートベルトアンカーの取りはずしは、2箇所となります。



TG-KB-A10

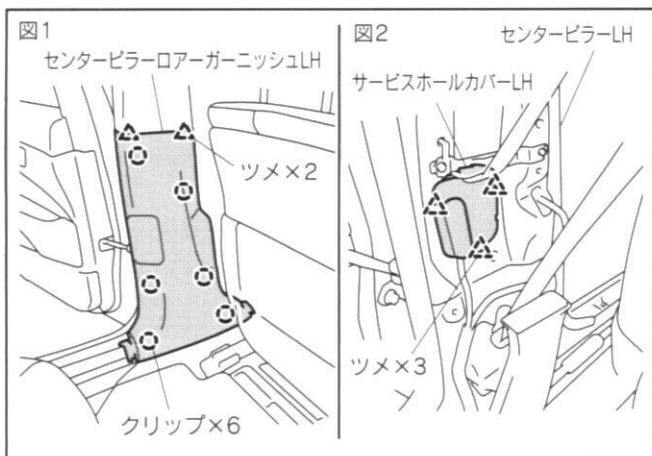
センターシートヘッドレストおよびフレームカバーの取りはずし

< 5人乗りパワーシートの場合 >

1. ツメ (2箇所) およびクリップ (2箇所) の嵌合をはずし、アームレストホールボードを前方へ倒す。
2. クリップ (2箇所) の嵌合をはずし、フレームカバーを取りはずす。
3. ボルト (2本) をはずし、センターシートヘッドレストを取りはずす。

⚠ 注意

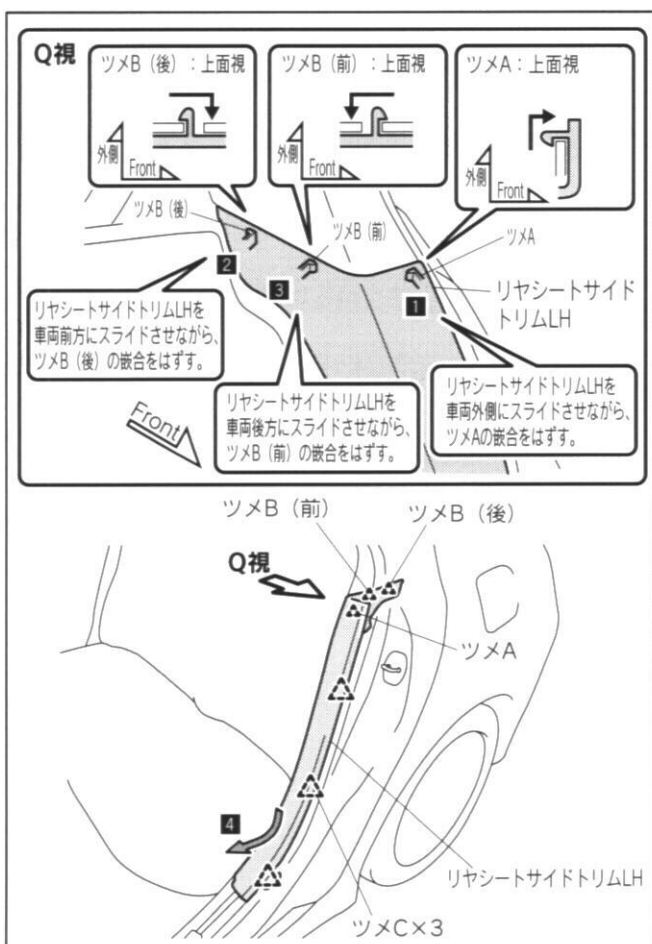
復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。



TG-KB-A14

センターピラーロアーガーニッシュ LH 及び サービスホールカバー LH の取りはずし

1. ツメ (2箇所) およびクリップ (6箇所) をはずし、センターピラーロアーガーニッシュ LH を取りはずす。(図1参照)
2. ツメ (3箇所) をはずし、サービスホールカバー LH を取りはずす。(図2参照)



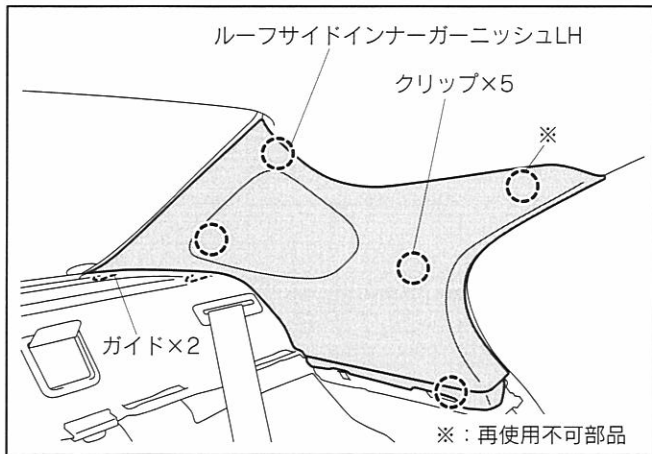
TG-KB-A06

リヤシートサイドトリムの取りはずし

1. リヤシートバック ASSY を車両前方に傾ける。
2. Q 視 1～3 の手順に従い、ツメ A (1箇所) および ツメ B (2箇所) の嵌合をはずす。
3. ツメ C (3箇所) の嵌合を 4 の矢印方向にはずし、リヤシートサイドトリム LH を取りはずす。
4. RH 側も同様に取りはずす。

⚠ 注意

1. ツメ A 及び ツメ B の嵌合をはずす際、必ず 1～3 の手順に従い、作業してください。無理に嵌合をはずすとツメが破損します。
2. ツメ A および ツメ B は、2～3mm 程度ずらすと嵌合がはずれますので、必要以上に引っ張ったりしないでください。
3. リヤシートバック ASSY を傾ける際、必ず車内に保護シートを敷いてください。



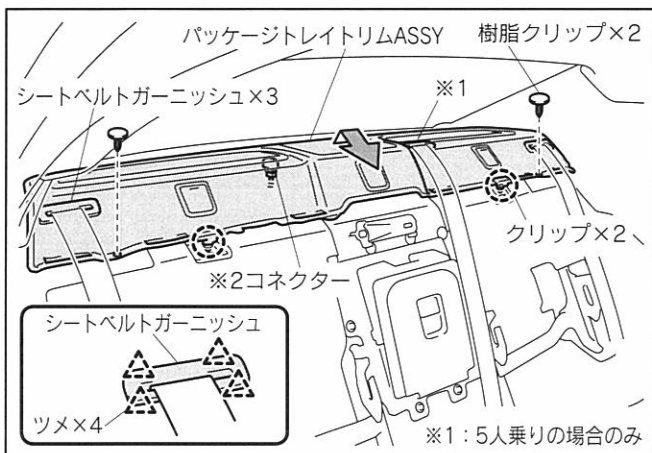
TG-KB-A08

ルーフサイドインナーガーニッシュの取りはずし

1. クリップ (5箇所) の嵌合をはずし、ルーフサイドインナーガーニッシュ LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。

アドバイス

ルーフサイドインナーガーニッシュ復元の際は、図中※印で示すクリップ (LH 側、RH 側計 2 箇所) を、製品に同梱されている樹脂クリップと必ず交換してください。



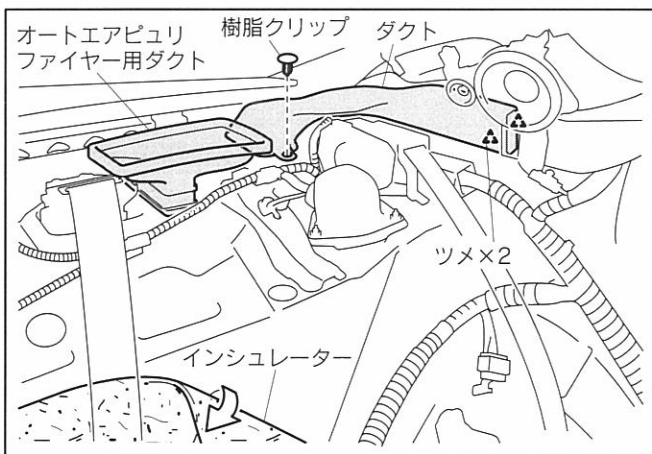
TG-KB-A11

パッケージトレイトリム ASSY の取りはずし

1. クリップ (2 箇所) および樹脂クリップ (2 個) の嵌合をはずす。
2. ツメ (4 箇所) の嵌合をはずし、シートベルトガーニッシュを取りはずす。
3. 各コネクターの嵌合をはずし、パッケージトレイトリム ASSY を取りはずす。

アドバイス

1. 図中※ 1 印で示すシートベルトガーニッシュの取りはずしは、5 人乗りの場合のみとなります。
2. 図中の※ 2 コネクターは、車両仕様により有無がありますので、装着車のみ作業してください。



TG-KB-A15

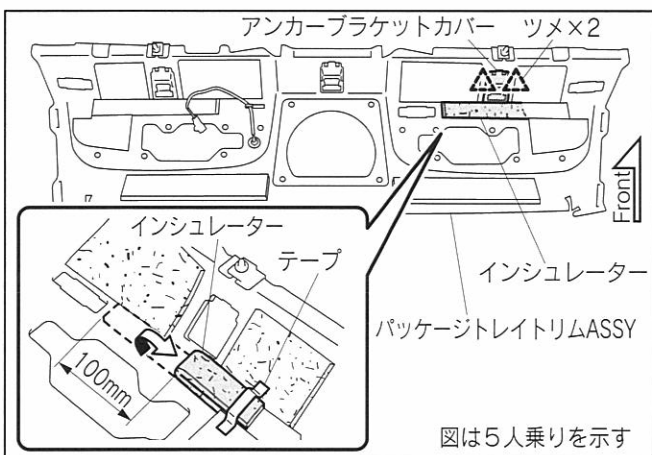
ダクトの取りはずし

1. 樹脂クリップ (1 個) およびツメ (2 箇所) の嵌合をはずし、ダクトを取りはずす。
2. オートエアピュリファイヤー用ダクトを取りはずす。

アドバイス

車両仕様によりダクトの有無がありますので、装着車のみ作業してください。

読書灯の取り付け



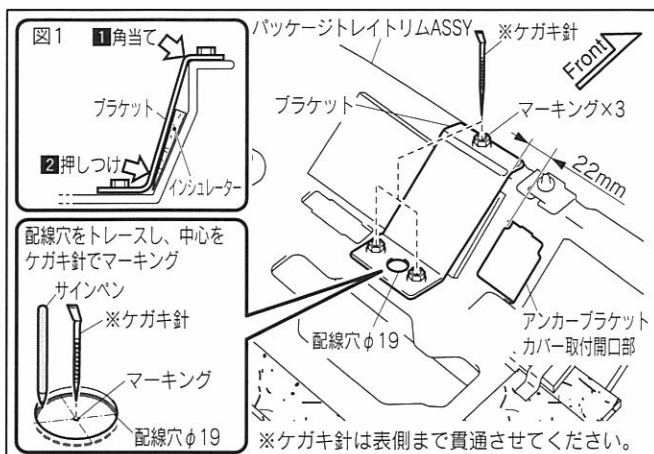
TG-KB-B01

パッケージトレイトリム ASSY の加工

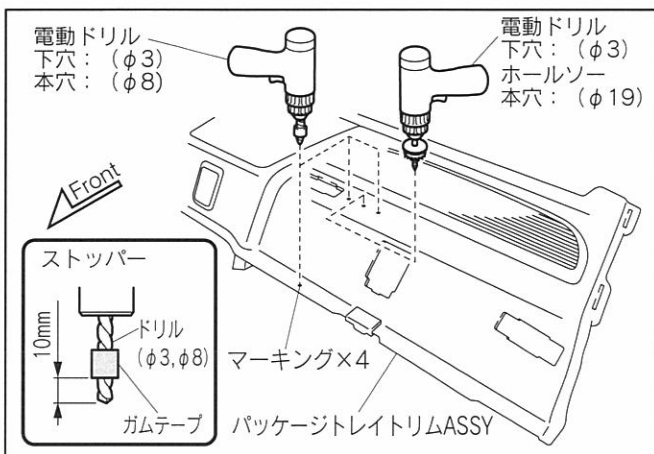
1. ツメ (2 箇所) の嵌合をはずし、アンカーブラケットカバーを取りはずす。
2. パッケージトレイトリム ASSY 裏のインシュレーターを 100mm 程度剥がし、折り返してテープで固定する。

注意

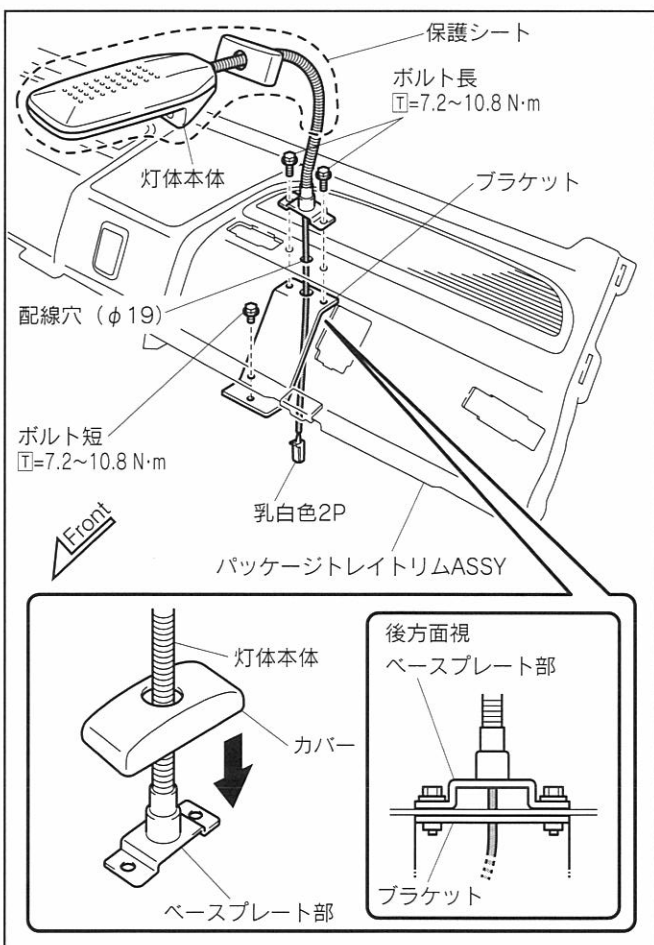
1. 加工後、インシュレーターを元の位置に戻す為、完全に取りはずさないように作業してください。
2. 部品傷付き防止の為、加工作業は保護シートの上で行ってください。



TG-KB-B06



TG-KB-B03



TG-KB-B04

3. ブラケットを左図寸法および図1の状態にし、ナット穴（3箇所）中心をケガキ針でマーキングする。

4. 配線穴をサインペンで、パッケージトレイトリムASSYに写す。

5. ブラケットを取りはずし、配線穴中心をケガキ針でマーキングする。

アドバイス

ケガキ針でマーキングする際は、表側（意匠面）まで貫通させてください。

6. 図に従い、電動ドリル（φ3、φ8）先端にストッパーをセットする。

7. マーキング（4箇所）に下穴（φ3）を開ける。

8. 下穴（3箇所）に本穴（φ8）を開ける。

9. 下穴（1箇所）に本穴（φ19）を開ける。

10. 穴開け箇所の切粉を取り除く。

注意

1. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう充分注意してください。

2. 穴開け作業の際、必ず保護メガネを着用してください。

灯体本体の取り付け

1. 灯体本体の乳白色 2P コネクターをパッケージトレイトリムASSYの配線穴（φ19）およびブラケット穴に通す。

2. 灯体本体をボルト長（2本）、ボルト短（1本）およびブラケットでパッケージトレイトリムASSYに固定する。

注意

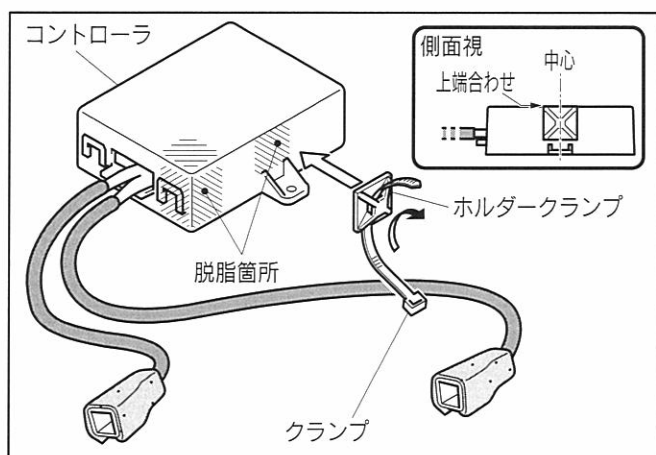
1. 灯体本体を取り付ける際、灯体本体の発光面が車両前方に向くように取り付けてください。

2. 灯体本体を傷つけないよう、保護シート等をかぶせて、取り付け作業を行ってください。

3. 取り付けの際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。

4. 灯体本体を固定後、ベースプレート及びブラケット部にガタ・緩みが無いことを確認し、再度、図中の指定トルクに従いボルトを締め付けてください。

3. カバーを灯体本体のベースプレート部に取り付ける。



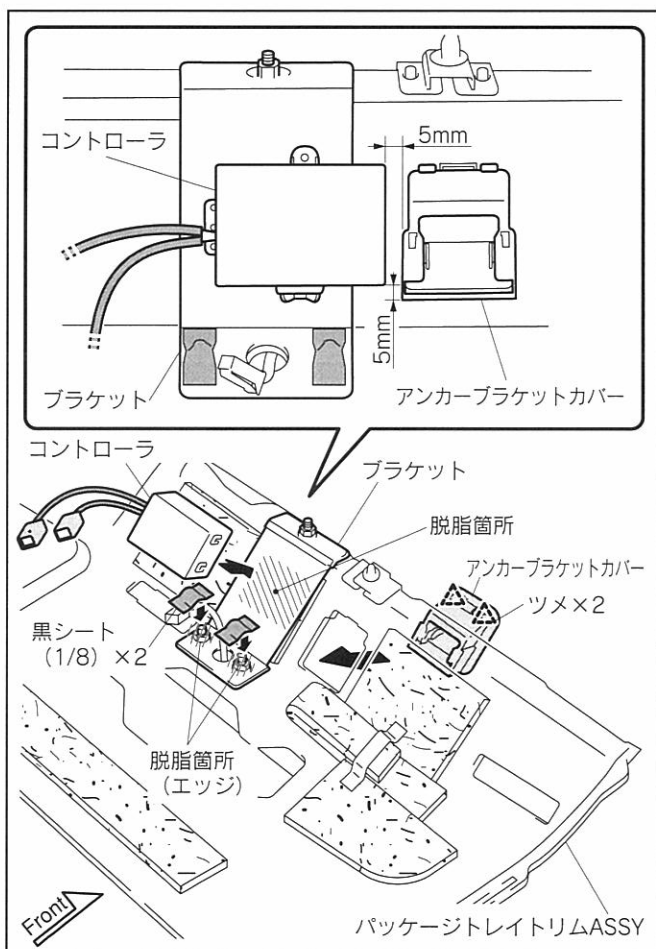
TG-KB-B05

コントローラの取り付け

1. 図中斜線部で示すホルダークランプおよび黒シート貼り付け位置を脱脂する。
2. クランプをホルダークランプに通し、コントローラ側面に貼り付ける。

⚠ 注意

1. 気温が 15℃ 以下の場合は、両面テープ部または取り付け位置をドライヤー等で温めてから接着作業を行ってください。
2. 貼り直しますと接着が低下しますので、位置合わせ作業は慎重に行ってください。



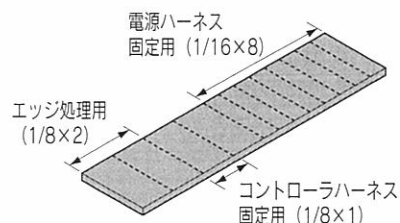
TG-KB-B05

3. 下記「黒シートカット要領」に従い、黒シートを 12 枚にカットする。
4. 図中斜線部で示すコントローラおよび黒シート貼り付け位置を脱脂する。
5. ツメ (2 箇所) を嵌合し、アンカーブラケットカバーを取り付ける。
6. 図中斜線部で示すエッジ (2 箇所) に黒シート (1/8) を貼り付ける。
7. コントローラの剥離フィルムを剥がし、左記寸法位置にコントローラを貼り付ける。

⚠ 注意

1. コントローラの貼り付け向きに注意してください。
2. 気温が 15℃ 以下の場合は、両面テープ部または取り付け位置をドライヤー等で温めてから接着作業を行ってください。
3. 貼り直しますと接着が低下しますので、位置合わせ作業は慎重に行ってください。

黒シートカット要領

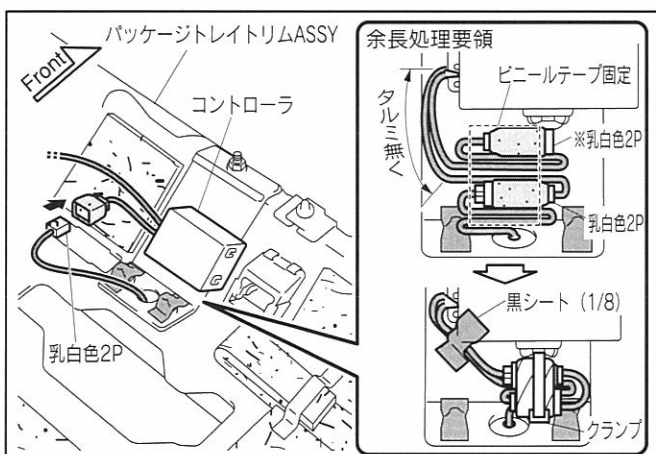


コントローラの接続

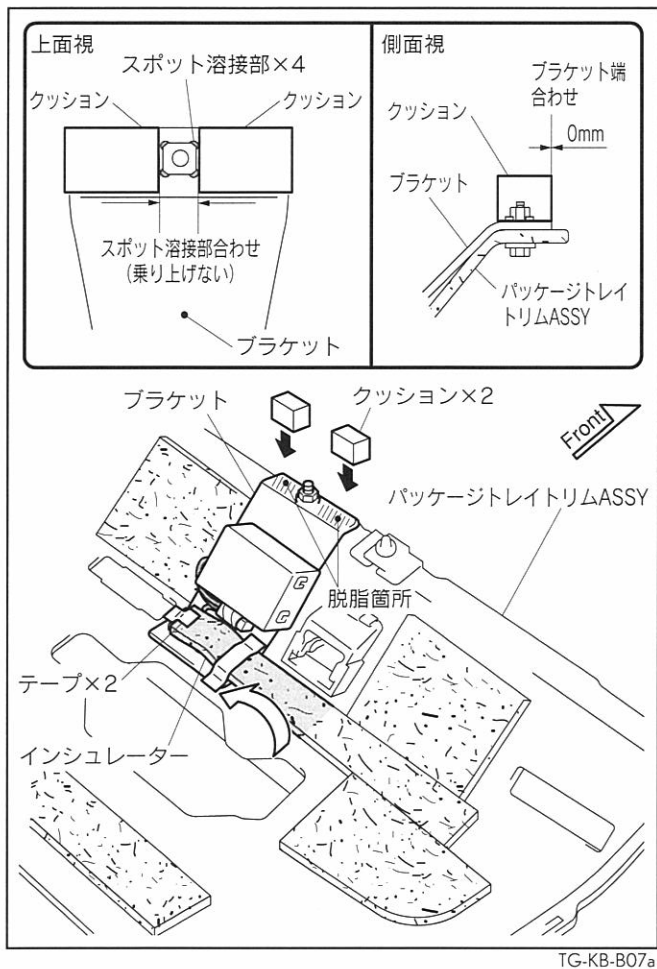
1. 灯体本体の乳白色 2P コネクタを、コントローラに接続する。
2. コントローラおよび灯体本体のハーネスを図のように束ね、ビニールテープで固定する。
3. ビニールテープで束ねたハーネスおよびコネクタをクランプで、ホルダークランプに固定する。
4. コントローラハーネスを、黒シート (1/8) でコントローラに固定する。

👉 アドバイス

図中※印で示す乳白色 2P コネクタは、パッケージトレイトリム ASSY 復元の際に接続します。



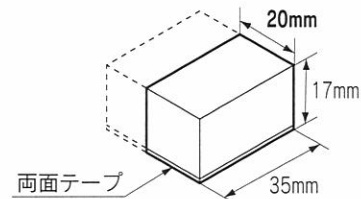
TG-KB-B08



5. インシュレーターを元の位置に戻し、テープで固定する。
6. 図中斜線部で示すクッション貼り付け位置を脱脂する。
7. 『クッション（2個）の確認と準備』に従い、クッション（2個）を用意する。

クッション（2個）の確認と準備

1. 同梱されているクッション（2個）の寸法を確認してください。
2. 下記寸法のクッション（2個）が同梱されている場合は、そのまま使用してください。
3. 下記寸法と異なるクッション（2個）が同梱されている場合は、下記寸法に従いクッション（2個）をカットし、使用してください。

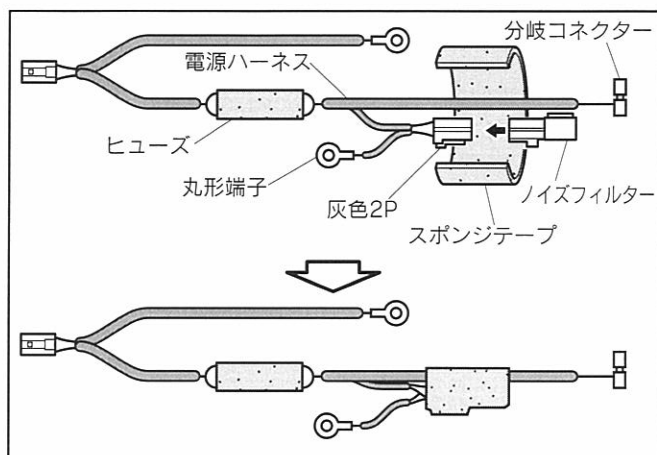


8. クッション（2個）の剥離フィルムを剥がし、クッション（2個）をブラケットのスポット溶接部に乗り上げないように、スポット溶接部（上面視）及びブラケット端（側面視）に合わせて貼り付ける。

⚠ 注意

1. 気温が15℃以下の場合は、両面テープ部または取り付け位置をドライヤー等で温めてから接着作業を行ってください。
2. 貼り直しますと接着が低下しますので、位置合わせ作業は慎重に行ってください。
3. クッション（2個）を貼り付ける際は、ブラケットのスポット溶接部に乗り上げないように充分注意してください。

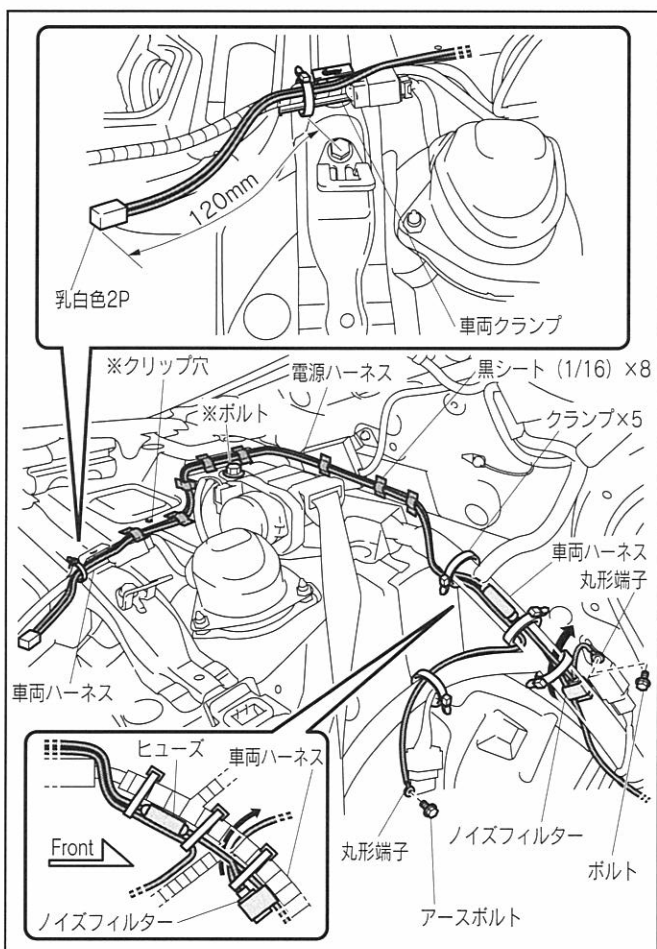
コントローラの取り付けおよび電源ハーネスの配線



TG-KB-C01

電源ハーネスの配線

1. ノイズフィルターを電源ハーネスの灰色 2P コネクタに接続する。
2. スポンジテープを、接続したノイズフィルターに巻き付ける。

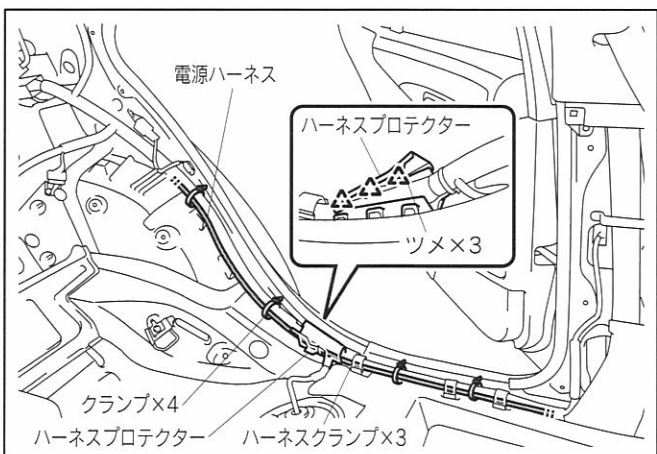


TG-KB-C02

3. 電源ハーネスの乳白色 2P コネクタの先端から 120mm の位置を車両クランプに合わせ、クランプで固定する。
4. 電源ハーネスを配線し、丸形端子をアースボルトに接続する。
5. ノイズフィルター側の丸形端子を、ボデーと車両ハーネスの間から取り出し、車両ノイズフィルターのボルトに接続する。
6. 電源ハーネスを、黒シート (1/16) およびクランプで固定する。

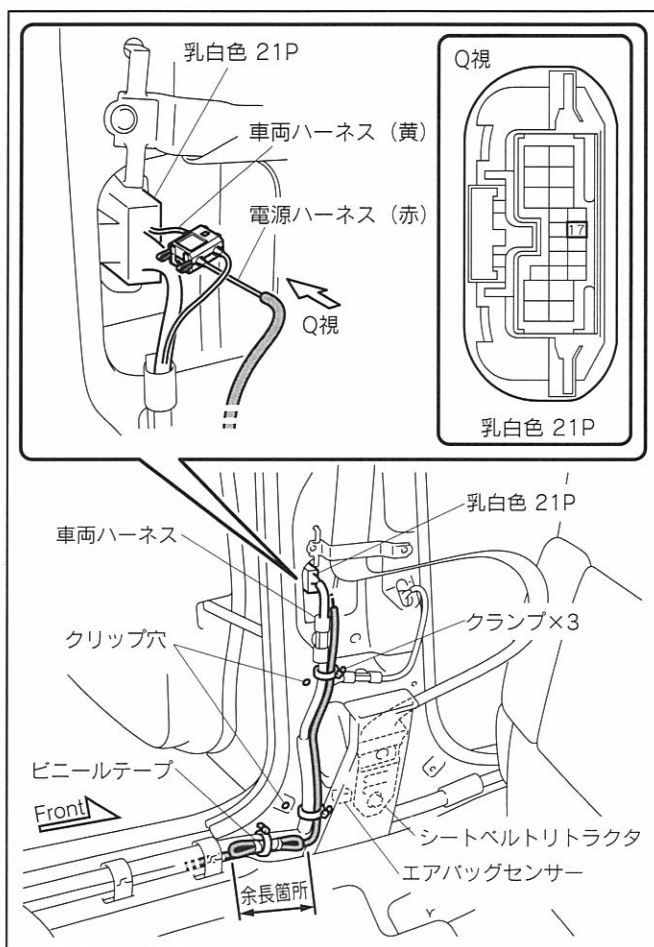
⚠ 警告

1. リヤシートサイドトリム LH との干渉を避ける為、ヒューズおよびノイズフィルターを車両ハーネス下に配線してください。
2. 電源ハーネスの固定は、図中※印で示すクリップ穴およびボルトを避け、噛み込みのない位置で行ってください。

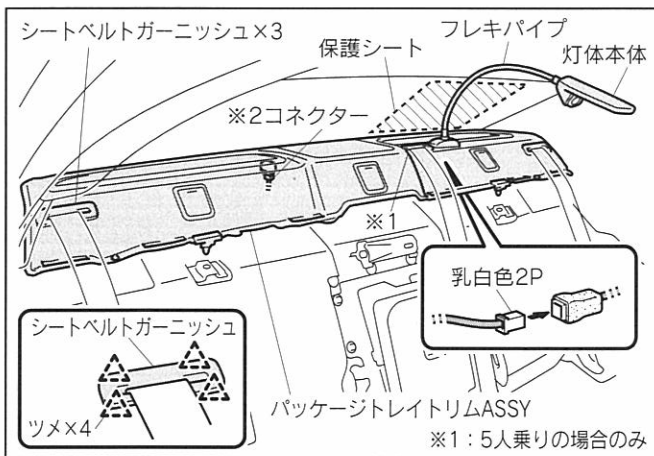


TG-KB-C03

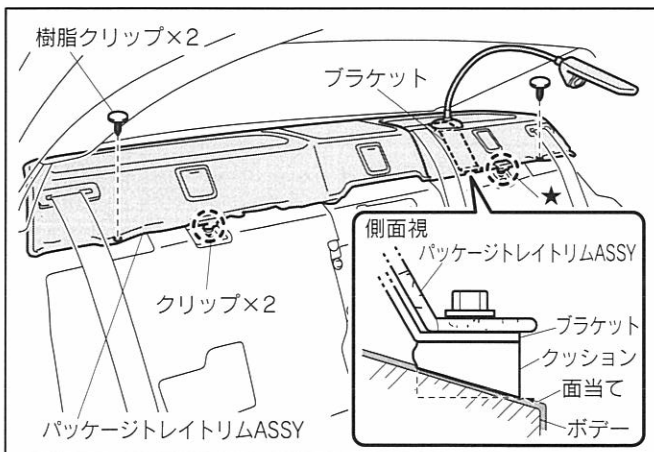
7. 電源ハーネスの分岐コネクタを、ハーネスプロテクタおよびハーネスクランプ内を通してセンターピラー LH まで配線する。



TG-KB-C04



TG-KB-D01



TG-KB-D02a

LS 18-14

8. 乳白色 21P コネクタの 17 番コード (黄) に、電源ハーネスの分岐コネクタ (緑色: 赤) を接続する。
9. 電源ハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。
10. 電源ハーネスの余長を束ねてビニールテープで巻き、車両ハーネスにクランプで固定する。

アドバイス

分岐コネクタ接続の際、乳白色 21P コネクタの嵌合をはずす必要はありません。

警告

1. コネクタ内に同じ線色が複数ありますので、接続の際はハーネスの端子番号を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
2. 電源ハーネスの固定は、エアバッグセンサーおよびシートベルトリトラクタに干渉しない位置で行ってください。
3. 電源ハーネスの固定は、クリップ穴を避け、噛み込みのない位置で行ってください。

パッケージトレイトリム ASSY の復元

1. 図中斜線部に保護シートを貼り付ける。
2. パッケージトレイトリム ASSY を仮置きして、ツメ (4 箇所) を嵌合し、シートベルトガーニッシュを取り付ける。
3. 電源ハーネスの乳白色 2P コネクタをコントローラに接続する。
4. 各コネクタを嵌合する。

注意

1. パッケージトレイトリム ASSY 復元の際、フレキパイプがリヤガラスに当たって破損する恐れがある為、予め車両前方向へ灯体本体を曲げて避け、充分注意して作業してください。
2. 図中の※ 2 コネクタは、車両仕様により有無がありますので、装着車のみ作業してください。

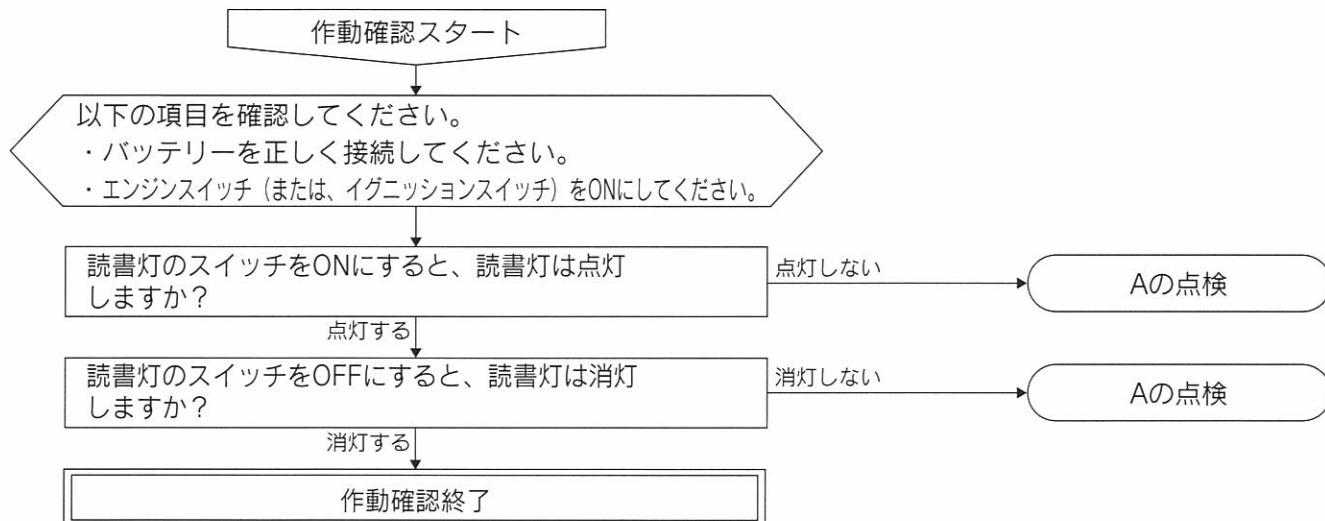
5. クリップ (2 箇所) および樹脂クリップ (2 個) を嵌合し、パッケージトレイトリム ASSY を復元する。

アドバイス

1. パッケージトレイトリム ASSY 復元の際、貼り付けたクッションが剥がれないようにボデー面へ当ててください。
2. 図中★で示すクリップは、側面視の様にクッションをつぶして嵌合させてください。

作動確認

1. 作動確認を行う前に、配線および取り付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従って点検作業を実施してください。



トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

⚠ 警告

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。
作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. パワーシート、イルミネーション等、電気系統に異常がないか確認してください。
3. 下記点検方法に従い、SRSエアバッグの点検を行ってください。
 - (1) エンジンスイッチ（または、イグニッションスイッチ）をONにしたとき、SRSエアバッグのウォーニングランプが点灯することを確認する。
 - (2) エンジンスイッチ（または、イグニッションスイッチ）をONにしてから約6秒経過後、SRSエアバッグのウォーニングランプが消灯することを確認する。

⚠ 注意

SRS エアバッグの点検時、異常が認められた場合は、修理書に記載された手順でトラブルシューティングを行ってください。

配線図

